

令和4年度第3回千葉市ナイトタイムエコノミー推進審議会議事要旨

1 日時：令和5年2月16日（木）午前10時30分～11時15分

2 場所：千葉中央コミュニティセンター9階 IT研修室

※WEB会議システム（Zoom）併用

3 出席者

（1）委員：神野会長、河井委員、石黒委員、観音寺委員、松本委員（計5名）

（2）事務局：濱木施策推進担当課長、事務局職員（計3名）

4 議題

令和4年度千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援事業の実績報告について

（1）MAKUHARI BAY-PARK FESTA 2022 ちば応援合戦「CHIBA PRIDE」

（2）昭和の森・恐竜王国～ナイトアドベンチャー～

5 議事の概要

令和4年度千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援事業として実施された、「MAKUHARI BAY-PARK FESTA 2022 ちば応援合戦『CHIBA PRIDE』」及び「昭和の森・恐竜王国～ナイトアドベンチャー～」の実績報告について、市からの諮問に基づき、審議を行った。

（1）「MAKUHARI BAY-PARK FESTA 2022 ちば応援合戦『CHIBA PRIDE』」の実績報告を確認し、慎重に審議を行った結果、「来場者数」及び「経済効果及び周辺への波及効果」が計画を上回るものであり、その他の項目においても、概ね計画どおり実施されたものと認められた。

評価する点として、当該事業は、海浜幕張の幕張ベイパークにある若葉3丁目公園において、公園内にステージを設置するとともに、約1,000個のLEDスカイランタンを夜空に打ち上げるなどの魅力的な企画を行うことにより、普段の夜の公園とは異なる非日常的な景観演出を行ったこと。

また、審議会からの意見等を踏まえ、市から要望した事項への対応に関し、近隣住民のみならず、多くの来街者による参加を促すため、初の試みとしてスカイランタンの打ち上げを中心とした魅力的で分かりやすいプロモーション動画を作成し、Instagram（SNS）による告知を行ったほか、Instagramにインターネット広告を掲出することで、来街者に対し広くイベントの告知を行ったこと。

また、コンテンツについても、県内各エリアの地域産品やマルシェを集めるとともに、広く多くの方に開放した企画を実施したことなどにより、来場者等に対する

アンケートでは、約 54%が街の外からの参加者であったとの回答結果が得られており、事業者が近隣住民のみならず、多くの来街者も参加しやすい事業となるよう、プロモーションや仕組みについて工夫したものと認められ、審議会からの意見等を踏まえた市の要望事項に対して、対応したこと。

さらには、昨年度実施し好評であったスカイランタンの打ち上げなどの魅力的な企画は継続させていくことで、当該事業における定番のナイトコンテンツとして、着実に認知度を高めていった結果、計画を大幅に上回る約 2 万人の来場者を集客することが出来たこと。

なお、約 2 万人の来場者を集客したことにより、出店店舗の売上総額が計画比で 1.4 倍、昨年比で 2.4 倍になるとともに、周辺店舗の売上は、通常時と比較し 10～50%増加したとの報告があることから、当該事業を実施したことによる経済効果及び周辺への波及効果があったこと。

そのほか、昨年度の実績報告において、事業継続のため、次年度以降の事業収入を増加させる取組みとして挙げていた「出店料・参加費の値上げ」や「各企画の参加費の徴収」などについても着実に実行し、本制度の補助金を含めてではあるが、収益を実現したことなどが評価された。

なお、次年度以降は、今年度の実施状況を踏まえ、継続実施を検討しており、これらを総合的に勘案し、補助金精算額（3,399 千円）のとおり、補助金を支払うことが妥当であるものと決定した。

- (2) 「昭和の森・恐竜王国～ナイトアドベンチャー～」の実績報告を確認し、慎重に審議を行った結果、「来場者数」が計画を上回るものであり、その他の項目について、「経済効果及び周辺への波及効果」以外は、概ね計画どおり実施されたものと認められた。

評価する点として、当該事業は、昭和の森園内の冒険広場にある雑木林において、10 数体の恐竜ロボットをその植生にあわせた配置をするとともに、間接照明でライティングするほか、ナイトアドベンチャー用の BGM を流すことなどにより、開催場所の特長を生かした景観演出を行ったこと。

来場者は、ランタン型の LED ライトを持ち、夜の森の中を進んでいくと、センサーに反応した恐竜の鳴き声や動く恐竜の動きに遭遇できることで、驚きと興奮が味わえるなど、非日常的で特別な体験を演出できたこと。

また、ターゲットを幼児から小学校低学年の子供を持つファミリー層に設定するとともに、開催日程についても子供たちが夜間に活動しやすい夏休み期間に設定し、プロモーションにおいても市内の幼稚園、小学校等へのチラシ配布やファミリー層向け情報 WEB サイトへの広告掲載など、一貫して子供を持つファミリー層に焦点を当てた事業構成により、計画を上回る約 3 千人の来場者を集めたこと。

さらには、当該事業の開催期間のうち8月分の昭和の森の利用について、約3千人の来場者を集めたことにより、前年同月と比較すると、利用者数は約42%増、駐車場利用は約32%増、売店売上は約14%増との報告があり、一定程度の経済効果があったこと。

なお、計画を大幅に上回る約3千人の来場者を集めたことにより、本制度の補助金を除いても、収益を実現したこと。

そのほか、台風の接近に伴い中止した8月13日の代替開催として、同じく令和4年度支援事業である「スターライトキャンプズ2022」と、10月29日に同日開催し、WEBプロモーション等を相互に実施するなどの連携を図ったこと。

その結果、当該事業のターゲット層ではなかったキャンプを好むファミリー層に対しても告知することができ、開催期間中の1日平均を上回る来場者数を獲得できたとの報告があることから、経済効果を高めるための取組みを一定程度実施できたことなどが評価された。

なお、次年度以降は、今年度の実施状況を踏まえ、継続実施を検討しており、これらを総合的に勘案し、補助金精算額(999千円)のとおり、補助金を支払うことが妥当であるものと決定した。

(問合せ先) 千葉市経済農政局経済部経済企画課

TEL 043(245)5359

FAX 043(245)5558